

平成 31 年度「県南方部出張型政策研究会」実施概要

「人口減少・少子高齢化が進み、自治体職員も減少する中であっても、地域に必要とされる行政サービスを提供し、行政経営が可能となる自治体の在り方を考える～バックカスティング思考で新しい視点を～」

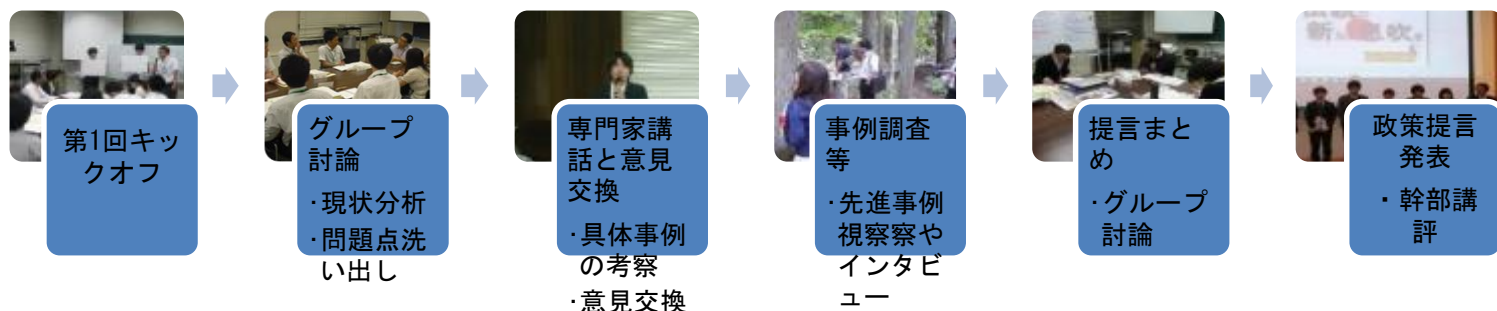


【政策研究会のココに着目！】

- 精鋭講師陣と少人数参加者による密度の濃い学び
- センターから遠くても大丈夫。県南方部での出張開催！
- 政策形成の技術と手法を学び、プロセスも重視する実践的な研究活動
- 自治体の枠を超えた広い視野の形成及び多様なコミュニケーション機会
- 月 1 回、通常業務を離れてじっくり探究、深まる議論と仲間との絆



【政策提言までの主な流れ】

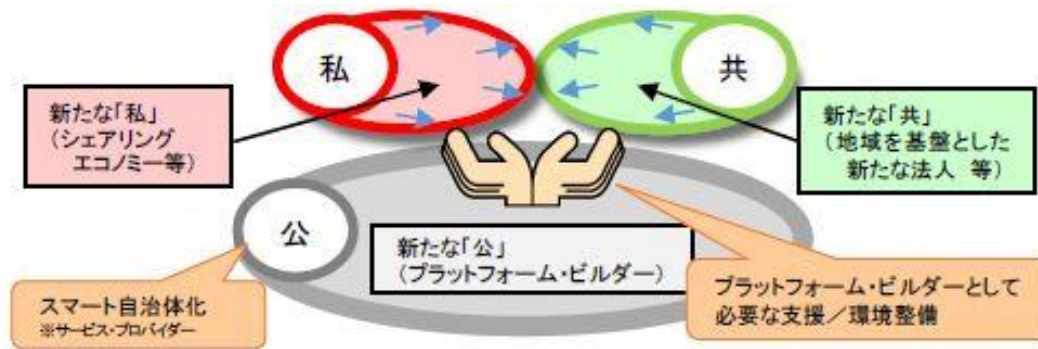


【テーマ設定の背景と研究成果の期待】

国が設置した有識者による研究会「自治体戦略 2040 構想研究会」は、高齢者人口が最大となる 2040 年頃の自治体が抱える行政課題を整理し、2018 年 7 月に今後の自治体行政の在り方を展望して取り組むべき方向性を示唆した。

- ① スマート自治体への転換
- ② 公共私によるくらしの維持
- ③ 圏域マネジメントと二層制の柔軟化
- ④ 東京圏のプラットフォーム

特に②において、自治体職員の減少、地縁組織の弱体化、家族の扶助機能の低下、民間事業者の撤退などにより、公共私それぞれのくらしを維持する力が低下することから、新しい公共私相互間の協力関係を構築し、くらしの担い手の確保を図る必要があるとされた。



出所：「自治体戦略 2040 構想研究会」報告書

これを念頭に、持続的な地域づくりにおける自治体の在り方を模索し、労働力と財源の減少など将来予測されるトレンドを制約として受入れつつ、将来にわたって県南地域の住民が豊かなくらしを送るために、将来のあるべき姿から逆算して今から取り組むべき分野と課題を設定し、新しい公共私相互間の協力関係とはどのような形か、くらしの担い手確保に向けて取り組む方向性と政策を考え、実現に向けたステップを提言する。



【新たな試み『バックキャスト思考』】

今回の政策研究会では、現状分析から課題を洗い出し、解決策を考える（フォアキャスト思考）ではなく、一定の制約を肯定した将来像から取り組むべき課題と対策を考えるバックキャスト思考について手法を学ぶとともに、課題設定へのプロセスに取り入れ、研究を行います。



【政策研究会の参加にあたって】

- 活動は原則として勤務時間内に行います。ただし、現地調査或いは先進地視察等は、視察先の都合等により異なることもあります。
- 研究会への参加費は不要です。ただし、開催場所或いは視察先までの旅費等については、所属団体における公務出張扱いとしてください。
- 当研究会は、テーマに関する業務の担当者にこだわりません。政策研究や当該テーマ等に関心を持ち、主体的に活動する意欲ある職員の参加を期待しています。

知識・理解を深める
(バックキャスト思考の理論を学び、試す)
(6月～8月)

第1回 6月13日(木) 13:00～17:00 キックオフ勉強会、体験WS

開催場所：白河市内

あいさつ：県南地方振興局長、センター所長

基調講演：東京都市大学 環境学部 古川柳蔵教授

演題：(仮)「バックキャスト思考で政策を提案するには」

- <内容>
- ・オープニングガイダンス
 - ・専門家による理論講義と体験ワークショップ

第2回 (7月中旬)トレンドから将来像の制約を整理、制約を肯定した将来像の検討

開催場所：県南地域のいずれかの市町村（以下、記載のない場合は同じ）

- <内容>
- ・現状及び将来予測データからのグループワーク
 - ・グループワーク（制約を肯定した将来像の検討）

第3回 (8月中旬) 将来像実現に向けて取り組むべき領域の課題を検討

- <内容>
- ・グループワーク（提案する分野の検討、研究したい課題の検討）

第4回 (9月) 勉強会

開催場所：白河市

- <内容>
- ・専門家を交えた勉強会（仮）「望ましい公共私ベストミックスとは」
候補者：自治体戦略2040構想研究会委員より1名
 - ・参考事例の収集、ヒアリング先等の検討

第5回 (10月) 先進事例、参考事例自治体ヒアリング

開催場所：ヒアリング先

- <内容>
- ・先進事例参考事例の自治体よりヒアリング調査
- 内容>
- ・提言まとめに向けてグループ討論、提言書たたき台作成

第6回 (11月) 研究員GW

- <内容>
- ・先進事例等結果考察、提言まとめへ向けたGW

第7回 (12月上旬) 研究員GW

- <内容>
- ・提言まとめ

第8回 (1月上旬) 研究員GW

- <内容>
- ・提言仕上げ

報告会 (1月下旬～2月上旬)

開催場所：福島市または白河市

- ・研究成果の報告会、幹部職員等による講評

調べる
考える
(課題への
取り組み
方向性
検討)
(10月
～11月)

まとめ
る、提言
する
(提言書
作成)
(12～2月)